①－１．大気質
短期予測（時間最大濃度）
ダウンウォッシュ発生時
煙突高さ：５９ｍ

項目	北　イコクヤ様敷地					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.002	0.00048	0.00152	0.00011	0.00163	0.1
二酸化窒素	0.021	0.00217	0.01883	0.00026	0.01909	0.1
浮遊粒子状物質	0.037	0.00131	0.03569	0.00007	0.03576	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00275	0.0006未満	0.00011	0.0006未満	0.02

項目	三福寺町（牛舎）					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化窒素	0.011	0.00160	0.00940	0.00019	0.00959	0.1

N

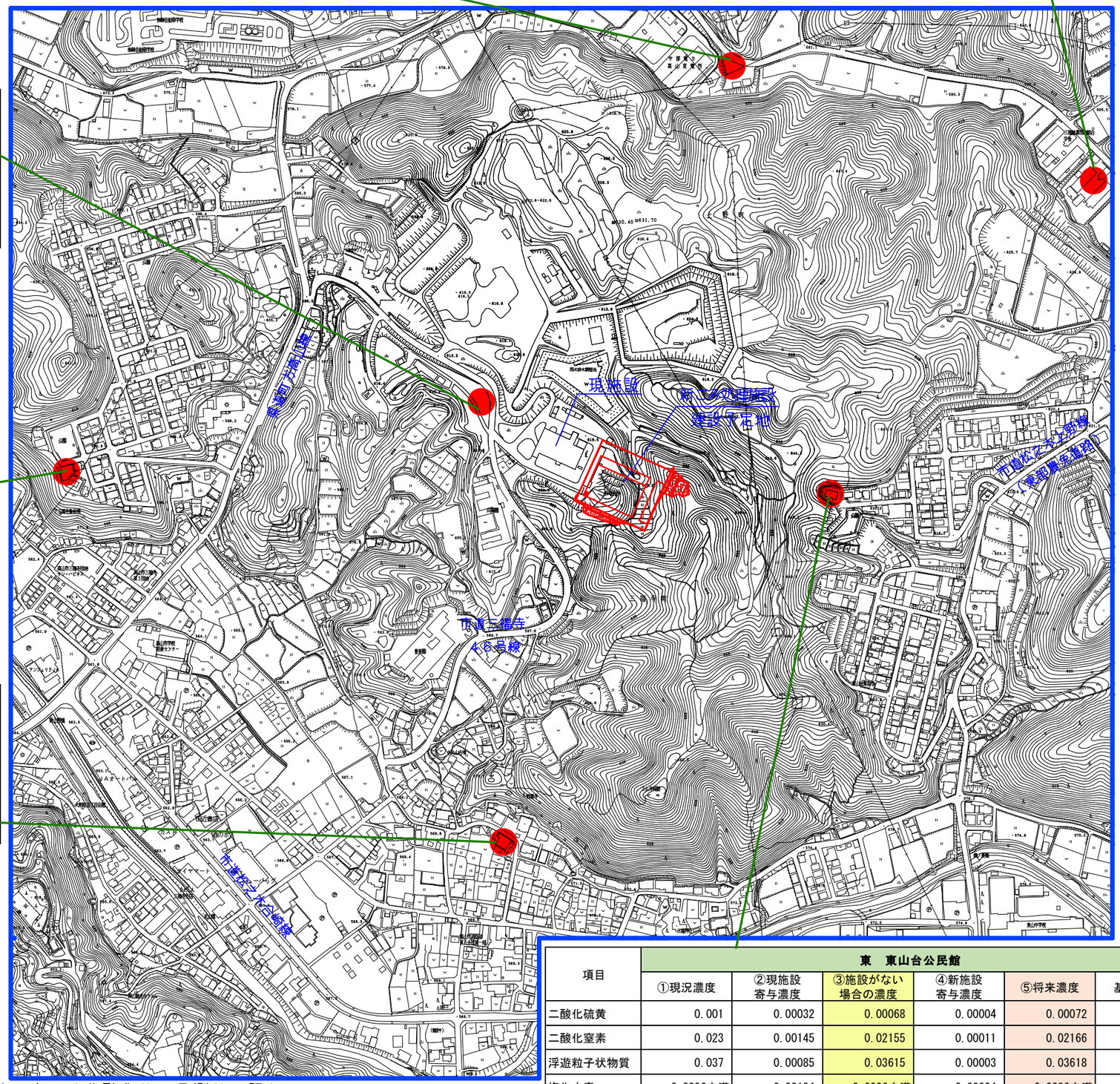
s=1/6,000

項目	建設予定地付近					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.001	0.00001	0.00099	0.00001未満	0.00099	0.1
二酸化窒素	0.022	0.00006	0.02194	0.00001未満	0.02194	0.1
浮遊粒子状物質	0.051	0.00003	0.05097	0.00001未満	0.05097	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00008	0.0006未満	0.00001未満	0.0006未満	0.02

項目	西　有斐ヶ丘町公民館					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.001	0.00043	0.00057	0.00011	0.00068	0.1
二酸化窒素	0.023	0.00198	0.02102	0.00027	0.02129	0.1
浮遊粒子状物質	0.040	0.00118	0.03882	0.00007	0.03889	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00250	0.0006未満	0.00011	0.0006未満	0.02

項目	南　三福寺町公民館					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.002	0.00035	0.00165	0.00006	0.00171	0.1
二酸化窒素	0.024	0.00159	0.02241	0.00016	0.02257	0.1
浮遊粒子状物質	0.039	0.00095	0.03805	0.00004	0.03809	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00201	0.0006未満	0.00006	0.0006未満	0.02

項目	単位
二酸化硫黄	ppm
二酸化窒素	ppm
浮遊粒子状物質	mg/m^3
塩化水素	ppm

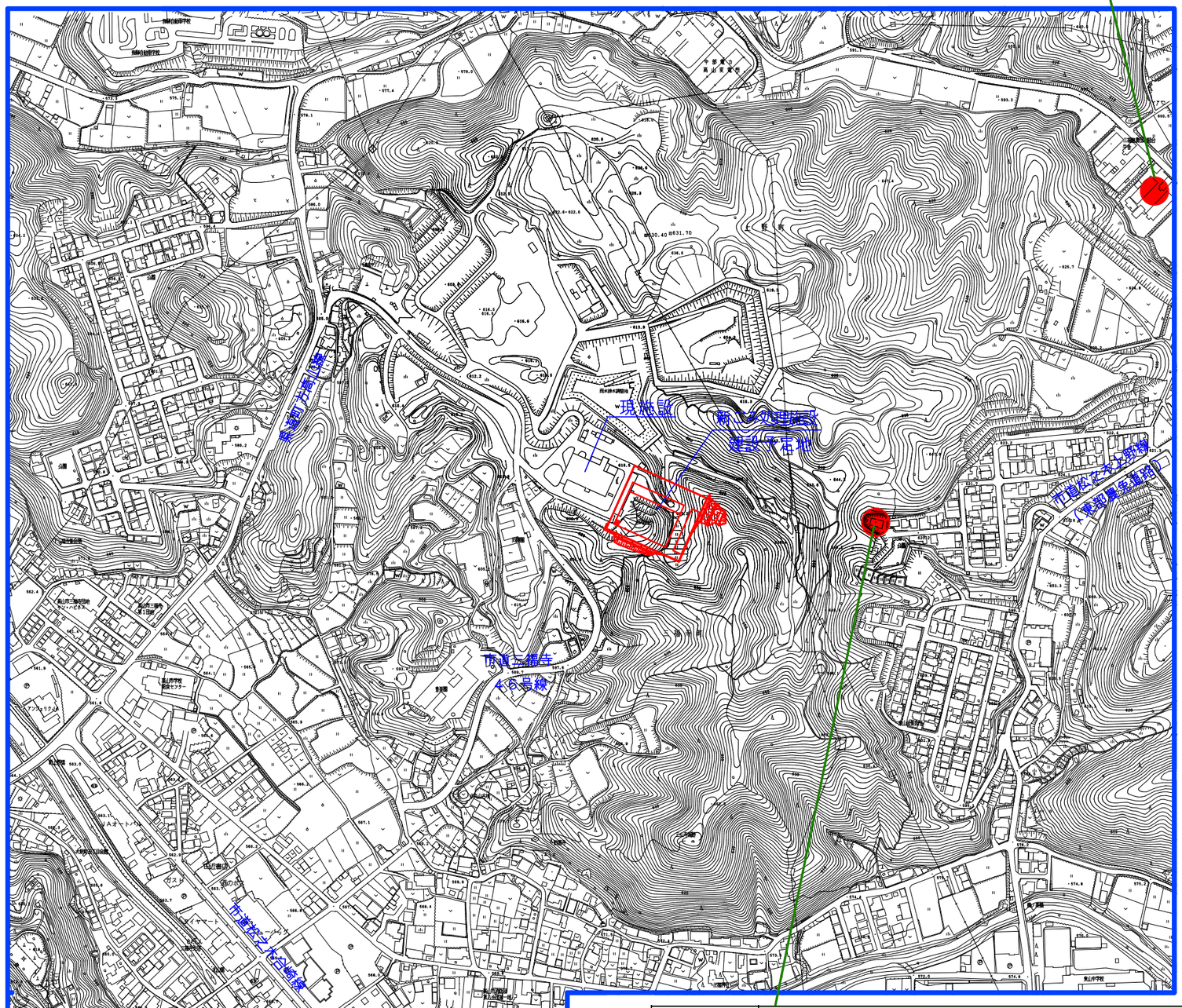


項目	東　東山台公民館					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.001	0.00032	0.00068	0.00004	0.00072	0.1
二酸化窒素	0.023	0.00145	0.02155	0.00011	0.02166	0.1
浮遊粒子状物質	0.037	0.00085	0.03615	0.00003	0.03618	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00184	0.0006未満	0.00004	0.0006未満	0.02

※二酸化硫黄について、現況濃度は二酸化硫黄の実測値、寄与濃度は二酸化硫黄を含む硫黄酸化物の予測値を記している。
※二酸化窒素について、現況濃度は二酸化窒素の実測値、寄与濃度は二酸化窒素を含む窒素酸化物の予測値を記している。

①－１大気質
短期予測（時間最大濃度）
ダウンドラフト発生時
煙突高さ：５９ｍ

項目	三福寺町（牛舎）					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化窒素	0.011	0.00536	0.00564	0.00072	0.00636	0.1



項目	単位
二酸化硫黄	ppm
二酸化窒素	ppm
浮遊粒子状物質	mg/m^3
塩化水素	ppm

項目	東　東山台公民館					
	①現況濃度	②現施設寄与濃度	③施設がない場合の濃度	④新施設寄与濃度	⑤将来濃度	基準値等
二酸化硫黄	0.001	0.00074	0.00026	0.00008	0.00034	0.1
二酸化窒素	0.023	0.00355	0.01945	0.00019	0.01964	0.1
浮遊粒子状物質	0.037	0.00148	0.03552	0.00005	0.03557	0.20
塩化水素	0.0006未満	0.00427	0.0006未満	0.00008	0.0006未満	0.02

※二酸化硫黄について、現況濃度は二酸化硫黄の実測値、寄与濃度は二酸化硫黄を含む硫黄酸化物の予測値を記している。
※二酸化窒素について、現況濃度は二酸化窒素の実測値、寄与濃度は二酸化窒素を含む窒素酸化物の予測値を記している。

①-２．　沿道大気質

【R1.11.18報告済】

①　現況大気質調査（H30.8～R1.5　年4回）

県道町方高山線と市道松之木合崎線で右記の大気中物質濃度を観測

全て環境基準値以下

❶

【日平均値】
二酸化窒素（ｐｐｍ）
浮遊粒子状物質（ｍｇ/㎥）

【時間最大値】
浮遊粒子状物質（ｍｇ/㎥）

主に自動車の排気ガスが原因となり、発生する物質

【R1.12.26報告済】

②　現況交通量調査

県道町方高山線の9月と12月の施設稼働日と休炉日（搬入車なし）
市道松之木合崎線の9月と12月の施設稼働日と休炉日（搬入車なし）

交通量調査日：（平日）はごみの搬入車両あり、（休日）はごみの搬入車両なし
県道町方高山線　【H30.9.2～3（休日）9.11～12（平日）、H30.12.9～10（休日）12.18～19（平日）】
市道松之木合崎線【H30.9.2～3（休日）9.11～12（平日）、H30.12.9～10（休日）12.25～26（平日）】

❷

❶現況交通量（年４回の平均１日あたり）　【台】

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
196	3,698	3,894	635	11,515	12,150

【R1.12.26報告済】

③　将来交通量の予測

年4回調査したそれぞれの道路の交通量を平均して、年平均の現況交通量とする。
現況交通量に、最もごみ搬入車両が多かった日（H30.12.25）の搬入台数を上乗せして、将来交通量とする。

❸

❷予測される将来の廃棄物運搬車両台数　【増加台数】
（年平均１日あたり）{H30.12の搬入車台数を増加分とする}

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
194	1,388	1,582	204	1,658	1,862

（❶+❷）予測される将来の交通量　【台】
（年平均１日あたり）

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
390	5,086	5,476	839	13,173	14,012

【R1.12.26報告済】

④　将来交通量による沿道大気への影響の予測

将来交通量の小型車、大型車それぞれによって発生する汚染物質排出量を算定する。
大気の拡散計算の長期予測の手法を用いて、調査地点における年平均濃度を予測する。

❹ 現況の年平均値

バックグラウンド濃度【現況濃度】　（年平均値）		
	町方高山線	松之木合崎線
二酸化窒素（ｐｐｍ）	0.005	0.006
浮遊粒子状物質（ｍｇ/㎥）	0.013	0.013

将来交通量による予測濃度　（年平均値）		
	町方高山線（V=40km/h）	松之木合崎線（V=30ｋｍ/ｈ）
二酸化窒素（ｐｐｍ）	0.00509（増加分0.0009）	0.00604（増加分0.00004）
浮遊粒子状物質（ｍｇ/㎥）	0.013005（増加分0.000005）	0.013004（増加分0.000004）

発生源条件

	町方高山線	松之木合崎線
走行速度	40km/h	35km/h

車種別排出係数

窒素酸化物		
	小型車	大型車
V=40km/h	0.049g/km・台	0.432g/km・台
V=35km/h	0.055g/km・台	0.485g/km・台
浮遊粒子状物質		
	小型車	大型車
V=40km/h	0.000548g/km・台	0.006958g/km・台
V=35km/h	0.000702g/km・台	0.007787g/km・台

汚染物質排出量算出根拠

【R1.12.26報告済】

⑤　将来交通量による沿道大気への影響予測の評価

年平均値から日平均値の年間98%値、2%除外値に換算
増加分の確認、環境基準値以下であることの確認

❺ 将来の年平均値

将来交通量による予測濃度　（年平均値⇒日平均値）		
	町方高山線（V=40km/h）	松之木合崎線（V=30ｋｍ/ｈ）
二酸化窒素（ｐｐｍ）	0.00509	0.00604
日平均値の年間98%値	0.016	0.017
浮遊粒子状物質（ｍｇ/㎥）	0.013005	0.013004
日平均値の年間2%除外値	0.035	0.035

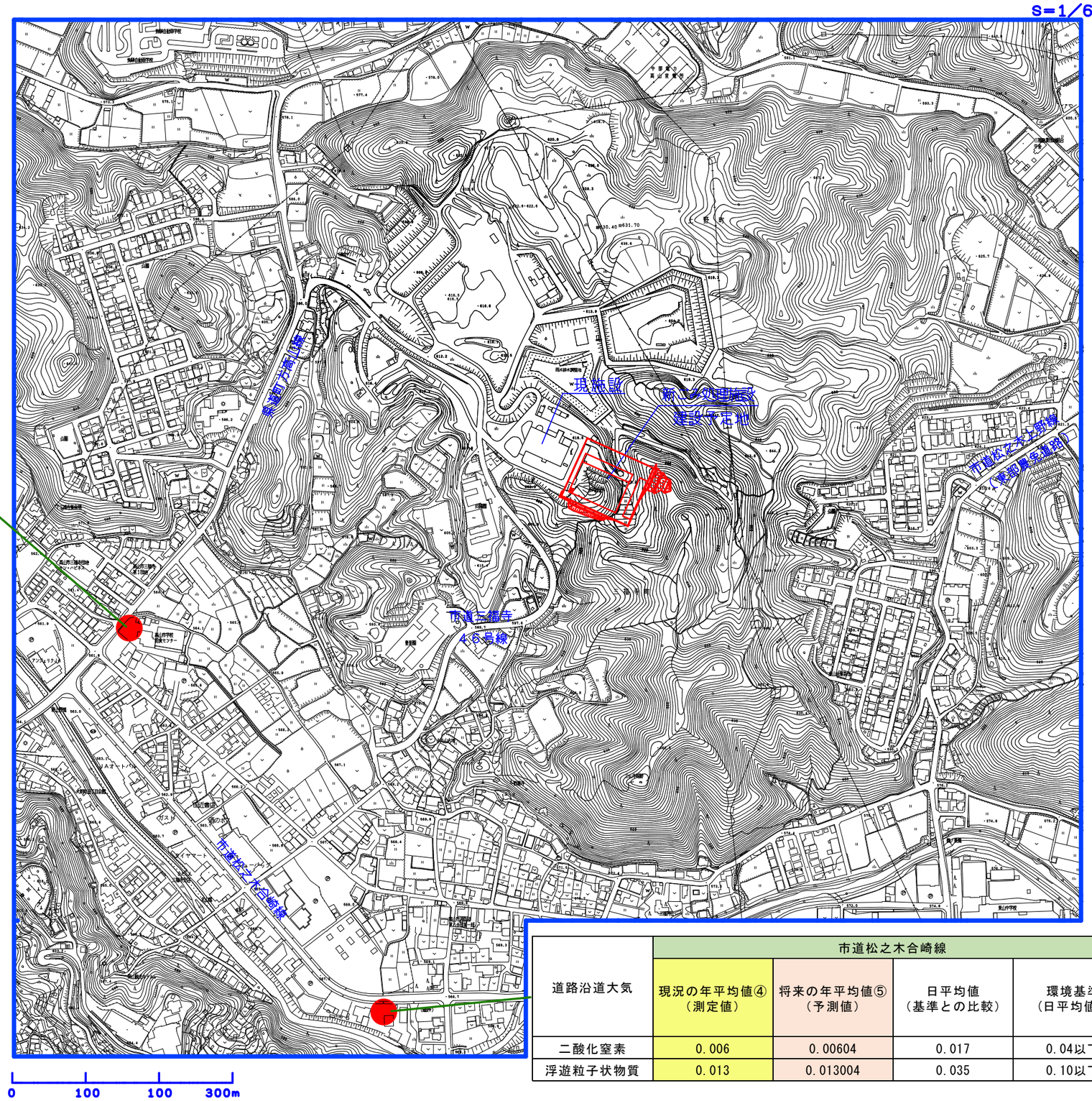
環境基準値（0.04ｐｐｍ以下）

環境基準値（0.10ｍｇ/㎥以下）

①－２．大気質（沿道大気）

道路沿道大気	県道町方高山線			
	現況の年平均値④（測定値）	将来の年平均値⑤（予測値）	日平均値（基準との比較）	環境基準（日平均値）
二酸化窒素	0.005	0.00509	0.016	0.04以下
浮遊粒子状物質	0.013	0.013005	0.035	0.10以下

項目	単位
二酸化窒素	ｐｐｍ
浮遊粒子状物質	mg/m^3



道路沿道大気	市道松之木合崎線			
	現況の年平均値④（測定値）	将来の年平均値⑤（予測値）	日平均値（基準との比較）	環境基準（日平均値）
二酸化窒素	0.006	0.00604	0.017	0.04以下
浮遊粒子状物質	0.013	0.013004	0.035	0.10以下

②-１．　沿道騒音

【R1.11.18報告済】

①　現況沿道騒音調査（H30.9、12）

県道町方高山線【H30.9、12(搬入日及び非搬入日）年４回24時間】
市道松之木合崎線【H30.9、12(搬入日及び非搬入日）年４回24時間】

全て規制基準値以下

❶ 現況騒音

町方高山線（24時間測定、ｄB）			
年月日		昼間	夜間
搬入日	H30.9.11	65	55
非搬入日	H30.9.2	63	53
搬入日	H30.12.18	66	56
非搬入日	H30.12.9	63	53
規制基準値（※）		70以下	65以下

（65+66）÷2＝66ｄB（平均値）

松之木合崎線（24時間測定、ｄB）			
年月日		昼間	夜間
搬入日	H30.9.11	63	54
非搬入日	H30.9.2	62	54
搬入日	H30.12.25	65	54
非搬入日	H30.12.9	64	54
規制基準値		65以下	60以下

（63+65）÷2＝64ｄB（平均値）

昼間：6時～22時
夜間：22時～6時

：　現況騒音値（昼間平均値）

※県道町方高山線は、県道で２車線あるため、幹線交通を担う道路として昼間70ｄB以下、夜間65ｄB以下とした

【R1.12.26報告済】

②　現況交通量調査

県道町方高山線の9月と12月の施設稼働日
市道松之木合崎線の9月と12月の施設稼働日

交通量調査日：（平日）はごみの搬入車両あり
県道町方高山線　【H30.9.11～12（平日）、H30.12.18～19（平日）】
市道松之木合崎線【H30.9.11～12（平日）、H30.12.25～26（平日）】

- 廃棄物関連の車両通行が見込まれる平日、昼間で予測分析する
- 平日、昼間の一時間あたりの発生騒音レベルの平均を発生騒音とする

❷

❶現況交通量　【台/16時間】
（平日昼間平均１日あたり）昼間：6時～22時

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
276	4,039	4,315	809	11,757	12,566

現況沿道騒音の発生源とする

将来交通量による沿道騒音を予測する

【R1.12.26報告済】

③　将来交通量の予測

年4回調査したそれぞれの道路の平日昼間の交通量を平均して、現況交通量とする。
H30.12.25調査したごみ搬入車両台数を将来の廃棄物運搬車両増加分として、現況交通量に加算して将来交通量とする。

❸

❷予測される将来の廃棄物運搬車両台数　【増加台数】
（平日昼間１日あたり）｛H30.12の搬入車台数を増加分とする｝

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
194	1,388	1,582	204	1,658	1,862

（❶+❷）予測される将来の交通量　【台/16時間】
（平日昼間１日あたり）

町方高山線			松之木合崎線		
大型車	小型車	合計	大型車	小型車	合計
470	5,427	5,897	1,013	13,415	14,428

【R1.12.26報告済】

④　将来交通量による発生騒音の予測及び評価

将来交通量の小型車、大型車の種別、走行速度、舗装などによって発生騒音を予測する

❹ 将来予測

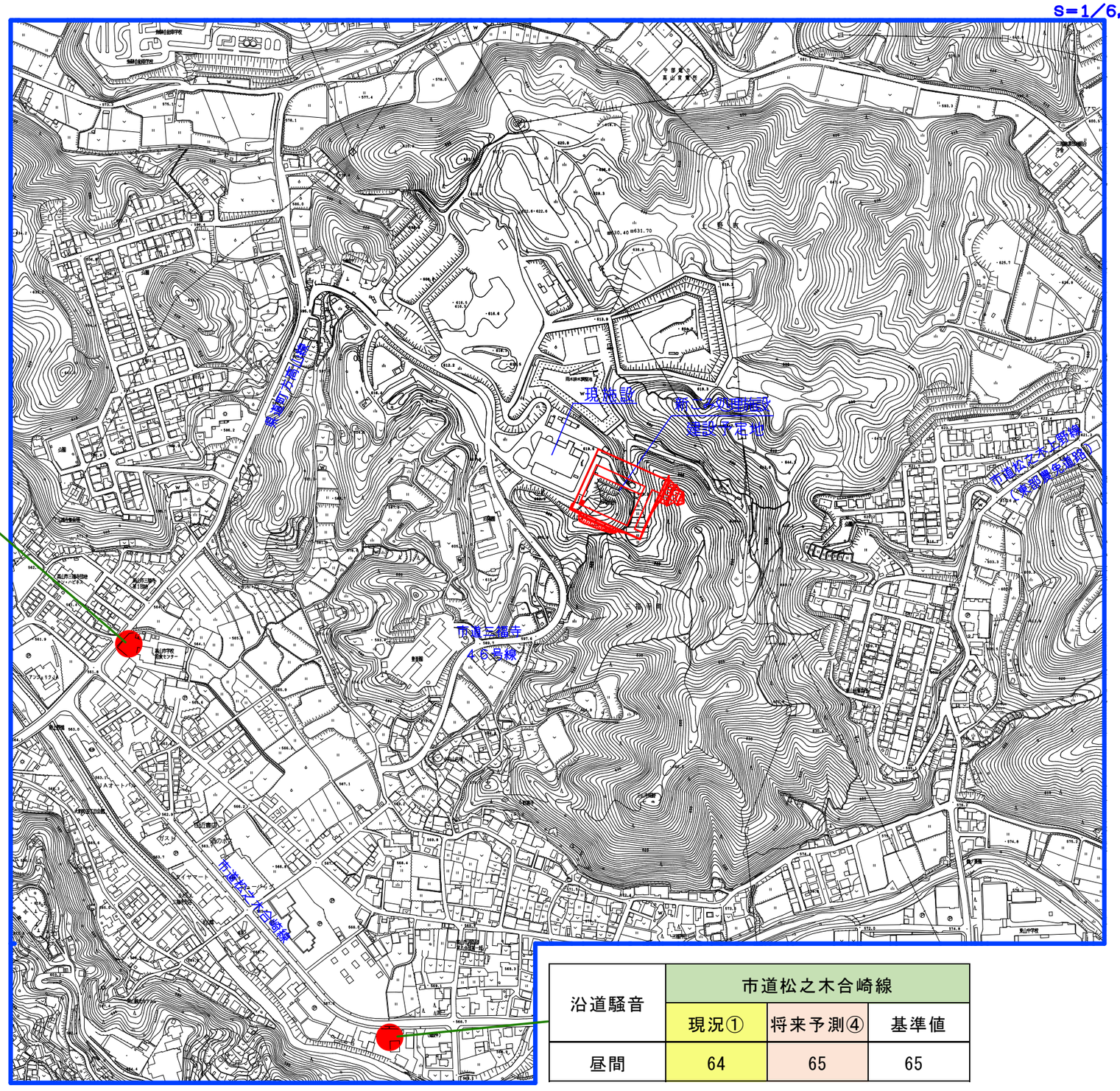
町方高山線　（ｄB）		
①現況騒音レベル（昼間測定値の平均）	④将来騒音レベル（予測値）	規制基準値 昼間(6～22時)
66	67	70以下

松之木合崎線　（ｄB）		
①現況騒音レベル（昼間測定値の平均）	④将来騒音レベル（予測値）	規制基準値 昼間(6～22時)
64	65	65以下

②－１．騒音（沿道騒音）

N

S=1/6,000



沿道騒音	県道町方高山線		
	現況①	将来予測④	基準値
昼間	66	67	70

沿道騒音	市道松之木合崎線		
	現況①	将来予測④	基準値
昼間	64	65	65

単位	dB

②-２．　施設騒音

【R1.11.18報告済】

① 現況環境騒音調査（24時間測定）

候補地付近及び東西南北各地点で現況騒音を調査
施設稼働日（H30.8.28～29）施設休炉日（H31.1.27～28）

概ね規制基準値以下
施設以外の原因による
超過箇所あり

② 新施設における工場騒音の予測及び評価

発生源の設定（ポンプ、送風機、空気圧縮機、破砕機など）

建物構造、外壁、屋根の想定及び吸音率の設定
（鉄筋コンクリート、鋼板など）

❶ 現況騒音

現況騒音測定結果　（ｄB）

	建設予定地付近		有斐ヶ丘町（西）		三福寺町（南）		東山台（東）		上野町（北）	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
現施設稼働時	51	47	46	35	57	46	48	49	50	48
休炉時	43	34	41	34	55	44	44	<25	40	37
規制基準値	65	60	55	45	55	45	55	45	65	60

昼間：6時～22時
夜間：22時～6時

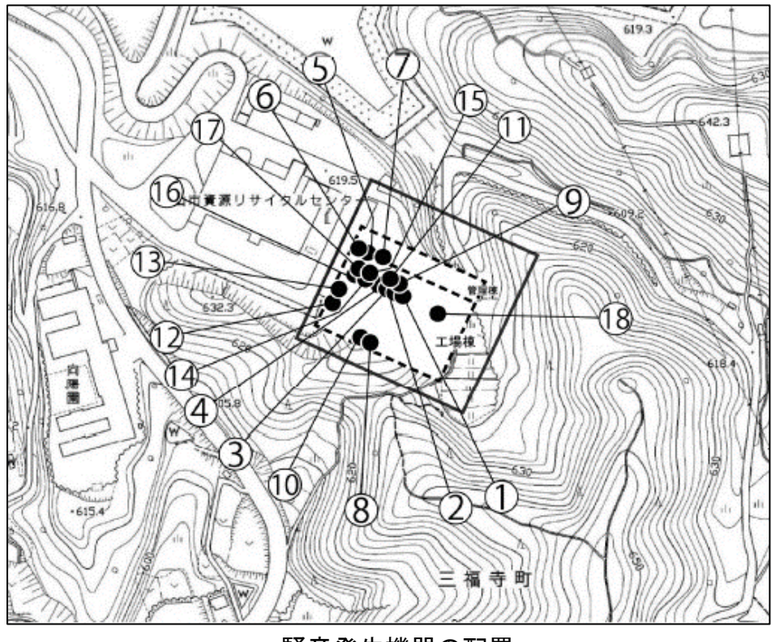
（注１）「<25」は騒音レベル計の測定レベル範囲未満であることを示す。

❸（❶+❷）　将来予測

新施設騒音予測結果　（ｄB）

	建設予定地付近		有斐ヶ丘町（西）		三福寺町（南）		東山台（東）		上野町（北）	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
❶休炉時	43	34	41	34	55	44	44	<25	40	37
❷施設からの騒音	52	50	44	42	34	33	38	37	26	<25
❶+❷　将来予測	52	50	46	43	55	44	45	37	40	37
規制基準値	65	60	55	45	55	45	55	45	65	60

（注２）騒音の数値（単位：ｄB）は対数で表現されているため、それらを合成した予測値は単純な数値の和とはならない。



騒音発生機器の配置

騒音発生機器の設定

機器名称	台数	騒音 パワーレベル(dB)	夜間稼働	騒音発生機器配置
ボイラ給水ポンプ	4	82	有	①, ②, ③, ④
蒸気復水器	2	98	有	⑤, ⑥
蒸気タービン発電機	1	93	有	⑦
押込送風機	2	98	有	⑧, ⑨
二次押込送風機	2	100	有	⑩, ⑪
誘引送風機	2	109	有	⑫, ⑬
雑用空気圧縮機	2	71	有	⑭, ⑮
計装用空気圧縮機	2	71	有	⑯, ⑰
破砕機	1	110	無	⑱

②－２．騒音（施設騒音）

施設騒音	北　イコクヤ様敷地		
	現況①	将来予測③	基準値
昼間	50	40	65
夜間	48	37	60

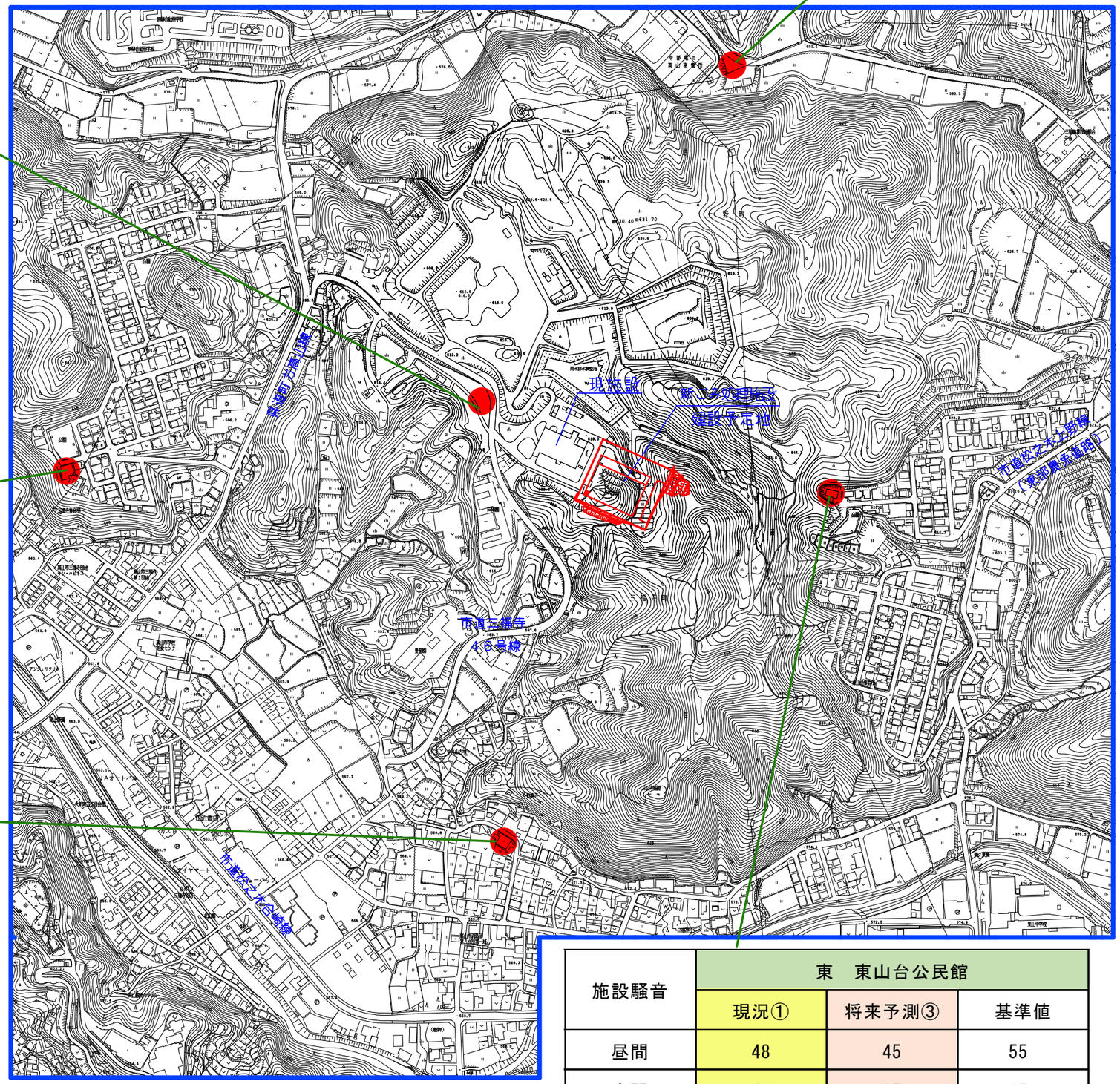
N

S=1/6,000

施設騒音	建設予定地付近		
	現況①	将来予測③	基準値
昼間	51	52	65
夜間	47	50	60

施設騒音	西　有斐ヶ丘町公民館		
	現況①	将来予測③	基準値
昼間	46	46	55
夜間	35	43	45

施設騒音	南　三福寺町公民館		
	現況①	将来予測③	基準値
昼間	57	55	55
夜間	46	44	45



施設騒音	東　東山台公民館		
	現況①	将来予測③	基準値
昼間	48	45	55
夜間	49	37	45

単位	dB

0　100　100　300m